

魚津市上中島公民館

◆事業の目的

子ども達が地区の各世代の方々と一緒に米作りの作業をすることにより、命の糧である米を身近にとらえ、生物の成長の過程を知り収穫の喜び又みんなで作業する楽しさを感じてほしい。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月21日(土)	田植え体験	学校田	56名
9月23日(金)	稲刈り体験	学校田	59名
10月12日(水)	脱穀体験	学校田	30名
12月17日(土)	わら工作「しめ縄づくり」	上中島公民館	42名
12月25日(日)	まゆだまつくり	上中島公民館	60名

◆事業の様子

☆ 田植え体験

耕して水の入った田んぼに入り苗を手で田植えをします。「わく」という器具をころがし田にしるしを付けます。しるしを付けたところに苗を植えます。また昔の着物を着て田植えをしてみました。初めて田に入る子どもが多く米作りの大変さを感じて貴重な体験をすることとなりました。



☆ 稲刈り体験 脱穀体験

黄色く実った稲を鎌で一株ずつ刈り、数本のわらで、クルッと結び束ねます。稲は「はさがけ」といって棚をつくり、棚にかけ乾燥をさせます。乾燥した稲は機械などない時代の農機具の千歯こきや足ふみ脱穀機での脱穀の体験をした。また現代の機械で脱穀もして、作業の違いや昔の人の仕事の知恵など貴重な経験をした。



☆ わら工作「しめ縄づくり」

地区の方を講師に脱穀した後のわらを利用して、お正月のしめ縄飾りをつくります。

☆ まゆだまつくり

みんなで作った新大正もちでもちつきをし、山から採ってきたまゆだまの木に赤・白のもちをつけ、まゆだまかざりをつくります。日本の昔のお正月を迎える風習を体験してみました。

◆事業の成果と課題

地域の人達の協力で作業をして出来たモチ米でおはぎなどを作り、一人暮らしの方々に配るなど、地域とのつながりを作ることができた。小学校や各団体又地区のボランティアの人々との強力なつながりで、公民館の事業が一層魅力的で楽しいものとなると考えている。